



健康 いきいき

日本脳炎の 予防接種を受けましょう

日本脳炎の予防接種と聞いて、みなさんどのようなイメージをお持ちですか。予防接種を契機に、重い病気になった事例もあり、怖いイメージを持っている人も少なくないと思います。今回は、日本脳炎ワクチンについてご紹介します。

日本脳炎ってどんな病気？

日本脳炎は、ウイルスの感染で起こります。ブタやイノシシなどの動物の中で増えたウイルスを蚊が吸血時に吸い込み、その蚊が人を刺した時に感染します。症状の多くは高熱、頭痛、嘔吐です。夏かぜのような症状で終わる人や、中には症状が出ない人もいます。

感染したらどうなるの？

感染者のうち100人から

1,000人に1人が脳炎や髄膜炎を発症し、脳炎にかかった時の致死率は20%から40%で、後遺症を残す人も多くいます。最近では、高齢者を中心に発生していますが、平成27年には千葉県で生後10か月児の報告がありました。また、平成29年度は国内で38人の感染が報告されました。

日本脳炎は日本の病気なの？

東南アジアで感染が多い病気です。日本脳炎ワクチンは、海外渡航に必要なワクチンとして位置付けられています。

いま予防接種は受けられるの？

新しいワクチンが開発されて、現在は通常どおり受けられます。接種勧奨の差し控えにより接種機会を逃した人は、不足

分を受けることができます。詳細は下記をご参照ください。

予防接種は、茨城県内の医療機関で受けられます。予約票がない場合は発行しますので、母子健康手帳を持参し、保健予防課までお越しください。

また、対象年齢に該当していない人も任意接種として受けることができます。接種を希望される人は、医療機関へご相談ください。



問

保健予防課（本庁2階）

☎ 22・0535

	対象者		接種方法	回数
	定期接種対象年齢	標準的な接種期間		
日本脳炎 第1期	生後6か月から7歳 6か月になる前日まで	初回：3歳から4歳 追加：4歳から5歳	初回：6日以上、標準的には28日までの間隔において2回 追加：2回目接種後6か月以上標準的には概ね1年以上の間隔において1回	3回
日本脳炎 第2期	9歳から13歳になる前日まで	9歳から10歳	1回	1回
日本脳炎 特例措置	①平成7年4月2日から平成19年4月1日生まれの20歳未満の人		日本脳炎予防接種4回（1期3回・2期1回）が済んでいない人は、不足分を定期接種として受けることができます。	規定回数は合計4回となります。接種間隔は、今までの接種回数により異なります。
	②平成19年4月2日から平成21年10月1日生まれの人		1期3回の接種が済んでいない人は、9歳以上13歳未満まで1期の不足分と2期を定期接種として受けることができます。	